

作業療法技術学Ⅶ（特別支援教育）

【科目名】 作業療法技術学Ⅶ（特別支援教育）		【担当教員】							
【授業区分】 専門分野（特論）		【授業コード】 4-26-1045-0-2		作業療法専攻教員 (メールアドレス)					
【開講時期】 4 年次後期		【選択必修】 選択							
【単位数】 1		【コマ数】 8		(オフィスアワー)					
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 発達障害分野に興味のある学生。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 教員からの話題提供及び、教員、学生とのディスカッションを行う。									
【講義概要】 (目的) 作業療法の新しい分野「特別支援教育」における作業療法について学ぶ。特別支援教育、就労支援における発達障害児への介入を学生と一緒に考えながら学修することを目的とする。 (方法) まず特別支援教育、就労支援についての理解を深めた後に、教科書や配布資料にそって、実際に作業療法に生かしている実践例をいくつか紹介し、ディスカッションする。									
【一般教育目標(GIO)】 発達障害分野の特別支援教育、就労支援について、文献、実践例を紹介し、理解を深める									
【行動目標(SBO)】 発達障害分野の特別支援教育、就労支援、生活支援の文献、実践例についての理解を深める。 教員、学生とディスカッションを行うことができる。									
【教科書・リザーブドブック】 適宜、文献を配布する									
【参考書】									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合				40	60				100 点
評価	取り込む力・知識			20					
	思考・推論・創造の力			20					

平成 26～28 年度入学者用

指 標	コラボレーションとリーダーシップ				20				
	発表力				20				
	学修に取り組む姿勢				20				
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法			学修課題(予習・復習)	時間(分)			
1	オリエンテーション 発達障害を巡る特別支援教育、就労支援の状況、基本的知識について	講義			発達障害作業療法の復習をしておくこと	30			
2	発達障害児の特別支援教育の現状と課題について	論文輪読とディスカッション			課題論文を読んでおくこと	60			
3	大学生の発達障害の現状と援助について	論文輪読とディスカッション			課題論文を読んでおくこと	60			
4	発達障害の就労支援の現状と課題	論文輪読とディスカッション			課題論文を読んでおくこと	60			
5	おとなの発達障害の現状と課題	論文輪読とディスカッション			課題論文を読んでおくこと	60			
6	脳性麻痺者の自律と援助について	論文輪読とディスカッション			課題論文を読んでおくこと	60			
7	全身性障害者の生活と援助について	論文輪読とディスカッション			課題論文を読んでおくこと	60			
8	家族を巡る問題	論文輪読とディスカッション			課題論文を読んでおくこと	60			

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。